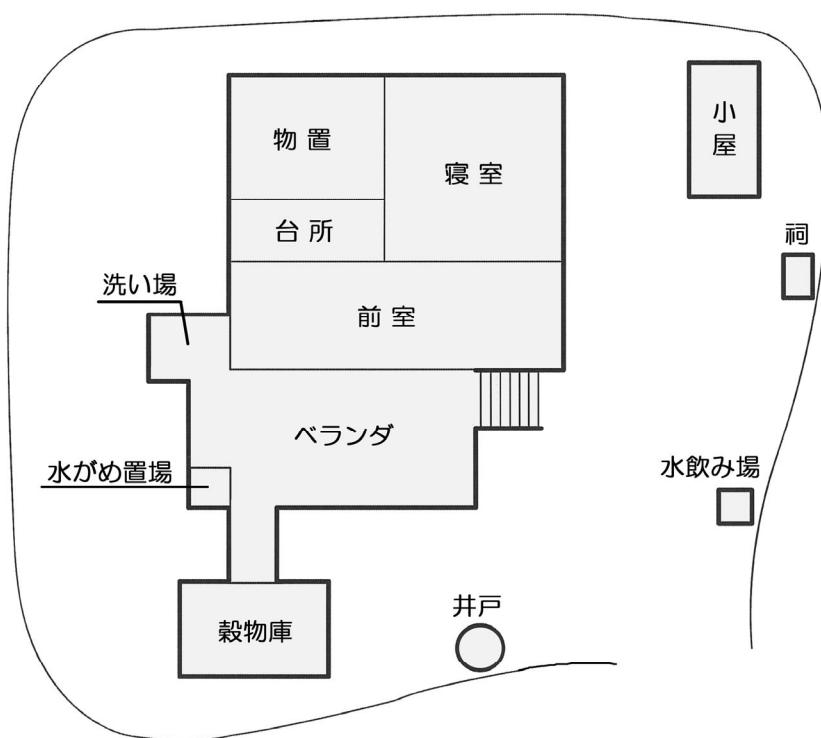


タイ ランナータイの家

タイ北部の平野にあるランナータイ地方で、水稻耕作をしている人びとの家です。高床の家屋には、食事や作業の場になるベランダと、寝室、かまどのある母屋と穀物庫があります。床下は作業場、物置、家畜小屋として利用されます。

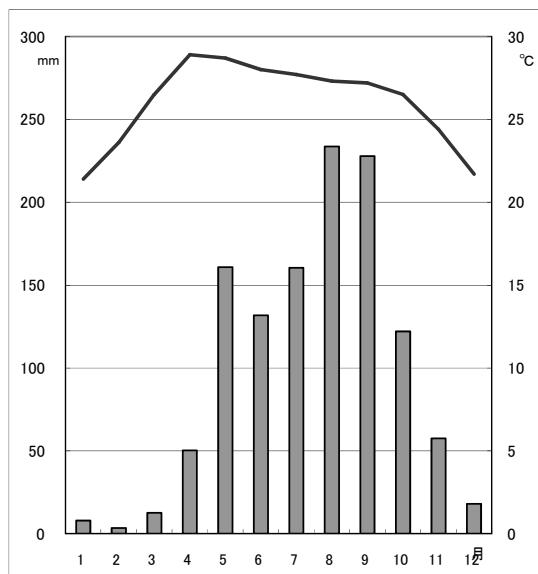


【ランナータイとは】

「ランナータイ」は13世紀の末から20世紀の初めまで、チェンマイを中心とする山間盆地を支配していた王国の名前で、独自の文化や美術、言語などを持っていました。人口の多くはタイ・ユアンと呼ばれるタイ族系の人びとです。

きこう 気候と住まい：暑さと湿気をやりすごす

ランナータイ地方の気候は、季節風によって5月から11月にかけての雨期、11月から翌年の4月にかけての乾期にわかれています。右の降水量をあらわす棒グラフで、雨期と乾期の違いが、はっきりとわかります。年間平均気温は25.9℃もあり、年間を通じて20℃以上となっています。犬山の年間平均気温は15.8℃で、10℃も差があります。



ランナータイの月別平均気温と降水量

【高床式の家屋】

地面からの湿気が屋内に入りにくくするために、床を高くしています。また、床下を風が抜け、涼しくする工夫もあります。さらに、雨期にはたくさんの雨が降り、一帯が水浸しになることもあります。屋内に水が入らないように、高床には洪水対策の役目もあるのです。

【雨対策の屋根】

家屋の屋根は雨が多いため、水切れが良いように、薄い素焼きの瓦を葺き、傾斜を強くしています。

【チーク材の家屋】

タイ北部はかつて良質なチーク材の産地でした。チーク材は硬く、耐久性に富むため湿度の高いこの地の家屋の材料としては最適なものでした。